

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 令和8年3月5日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》 IV. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <p>・よりよい学校生活や日常生活を送るための校外の学校行事の在り方について</p>
調査研究のねらい	<p>よりよい学校生活や日常生活を送るための校外の学校行事の在り方について</p> <p>本市夜間学級の在籍者数は令和6年9月10日現在101名であり10代から80代までの幅広い年齢層に加え、義務教育未修了者や入学希望既卒者、外国籍の者等、受け入れる生徒は多様化している。特に外国籍や外国にルーツがある生徒が約9割であり、言語や文化の違いなどで、日本語によるコミュニケーション不足に陥り、学校生活や日常生活に馴染むことができない生徒がいる。</p> <p>本調査研究は、生徒たちが安心して学校生活や日常生活を送り、それぞれの目標に向かって学び続けることができるよう、校外学習や近畿夜間中学校協議会の三大大行事（新入生歓迎集会、連合運動会、連合作品展）に参加し、様々な体験をすることによって、相互理解を深め、公衆道徳を得ることをねらいとする。近畿夜間中学校協議会の三大大行事では、自校及び他校の多くの生徒と交流を行い、他者と共通する部分や異なった部分を知ることで「多文化共生」、「相互理解」について学ぶことができる。また、校外学習では体験活動に取り組むことで、日ごろの学習を深めたり、日本の文化に慣れ親しんだりすることができる。また、学齢期に十分学べなかった生徒や外国籍の生徒たちにとっては、良い思い出作りや公衆道徳を得ることもできる。これらの学びから、生徒自身が自己肯定感をもつことや他者との関わり方を知ること、居住地を離れることによる新たな発見によって、生徒が学校生活及び日常生活を送るうえで必要なことに気づくことができると考える。</p>
調査研究の成果	<p>【4月】オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外で行う学校行事の行先及び日程を生徒に伝えた。生徒が学校行事で学習したいこと、日常生活を送っていて疑問に思っていることを先生方に教えてくださいと伝えた。 <p>【5月】新入生歓迎集会（堺市産業振興センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校及び他校の生徒や教職員の前で、名前を書いた画用紙を持ち、自己紹介をした。その後、生徒全員で歌と踊りを披露した。

【5～7月】校外学習の事前学習

- ・社会科において、地図帳を使って岡山県の地理的位置を確認し、特産物や名所についても学習した。

【9月】校外学習（岡山方面）

- ・学校生活の大部分を占める授業クラスの枠を越え、施設見学を行い、食事も生徒同士の交流を行うことができた。
また、施設見学する際、施設の方から見学するときの留意点を話してもらい、見学マナーを身につけた。

【10月】校外学習の事後学習

- ・現地での体験活動を通して学んだことを活用し、事前学習で疑問に思ったことについて自分の考えをまとめた。まとめた内容を校内の学習発表会や学活の時間等で発表した。また、学校生活や校外学習での体験活動を通じて、今後がんばりたいことや、夜間学級で勉強したいことを「えんぴつポスター」に表現した。

【10月】連合運動会の予行練習

- ・生徒同士で相談しながら参加する競技を決定し、連合運動会に向けて競技ごとに練習を行い、ルールの確認をした。

【10月】連合運動会（東大阪アリーナ）

- ・競技に参加し、他校の生徒との親交することで、「多文化共生」や「相互理解」を深めた。

【2月】連合作品展（北区民センター）

- ・個人作品及び共同作品を制作し、出展した。共同作品作りでは、「横断幕」を学年や学級で担当分担し作品を完成させ、割り振られた各作業に責任をもって取り組むことができた。
- 生徒に学校行事の内容等を周知するために、事前授業及び行事案内の校内掲示、学活の時間に行事の説明や予行練習等のレクリエーションを行った。
- 生徒が校外行事等の学校行事に安全・安心に参加できる環境を作るため、生徒の参加費用の軽減及び体力的な負担軽減等の支援を行った。具体的には、大阪府外に移動する際に、貸し切りバスを利用し、また、できるだけ拝観料や体験費用が安い施設を選択した。体力的な負担軽減のため、学校行事をできるだけ自校で行い、安全対策として車いすを2台確保している。
- 過去の校外学習及び近畿夜間中学校連絡協議会の三大大行事の生徒参加率
- ・本事業を活用していない行事との参加率の比較検証（平成30年度～令和7年度）を下表に示す。
- (表) 三大大行事及び校外学習の参加率 (%)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
新入生歓迎集会	16.2	11.9			13.2	24.0	17.6	22.8
連合運動会	10.6	11.5			21.6	24.2		9.8
連合作品展	8.9	10.0			12.7	12.1	12.9	7.8
校外学習	11.0	11.8			23.5	24.2	21.8	16.7

- ・太字：委託事業による貸切バス借用
- ・斜字：生徒会費による貸切バス借用
- ・R2及びR3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・H30～R4、R7は泊を伴う校外学習

○学校行事の参加生徒人数と学校行事が実施される月単位の生徒出席人数との関係

(表)出席人数に対する参加人数の割合(%)

	R4	R5	R6	R7
新入生歓迎集会	49.6	68.2	60.2	66.2
連合運動会	75.9	69.0		37.2
連合作品展	69.9	56.7	86.1	42.1
校外学習	88.6	67.7	92.4	48.3

※R4、R7は泊を伴う校外学習

○各行事後のアンケート及び感想文等、話し合い活動等を通じて各行事で学んだことを振り返り、生徒が自分自身の言葉で「えんぴつポスター」にまとめ、学活の会等で発表した。これらのことで過去の自分と比べてどれだけ成長したか、気持ちの変化はあったのかを気づくことができたと考えられる。

○行事ごとの調査研究の成果から、学校行事や校外学習、近畿夜間中学校連絡協議会の三大大行事が学習意欲や多文化共生、相互理解に効果があるのかを下表のように分析し、学校ホームページ等で発信する予定である。

(表)行事ごとの「学習意欲」や「多文化共生」、「相互理解」の効果について

	学習意欲	多文化共生	相互理解
新入生歓迎集会		○	○
校外学習の事前学習	○		
校外学習		○	○
校外学習の事後学習	○		
連合運動会の予行練習			○
連合運動会			○
連合作品展	○	○	

※「○」：効果があると考えられる